

本年度の結果

	算数A	算数B
阿蘇市	65	50
全国	63.5	51.5

算数A	数と計算	量と測定	図形	数量関係
阿蘇市	63.5	73.8	56.9	61.1
全国	62.3	72.7	56.9	60.1

算数B	数学的な見方考え方	数量や図形の知識理解
阿蘇市	47.2	73.9
全国	49.2	71.7

本年度の主な結果について

○十進位取り記数法で表された数の大小についての理解、異種の二つの量の関係の理解、角の大きさについての単位と測定の理解、折れ線グラフから変化の特徴を読み取ること、図形の合同についての理解は定着している。
 ●小数の除法の意味の理解、円周率の意味の理解、複数の観点で示された情報とグラフを関連づけて解釈、表現すること、既習事項を活用して根拠となる事柄を言葉や数、式を用いての記述等、活用する力や数学的な考え方に課題がある。

成果と課題

学力調査から

【定着している内容】

- 異種の二つの量のうち一方の量がそろっているときの混みの具合の比べ方を理解すること(A4(1))
- 180° の角の大きさを理解すること(A5(1))
- 合同な正三角形で敷き詰められた模様の中に条件に合う図形を見いだす(B1(1))

【課題】

数と計算

- 整数÷小数の式で小数の除法の意味について理解すること(A2)、示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断すること(B2(2))

量と測定

- 単位量当たりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解すること(A4(2))、折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述すること(B5(1))

図形

- 円周率の意味について理解すること(A7(1))、直径の長さと同周の長さの関係について理解すること(A7(2))、図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述すること(B1(2))

数量関係

- 百分率を求めること(A8)、メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述すること(B3(1))

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 「算数の勉強は好き」と回答した割合は全国より高く、昨年度より増えている。
- 算数の記述式の問題を最後まで書こうと努力した児童は全国よりもやや高い。

【課題】

- 「算数の授業の内容がよく分かりますか」は、年々低くなっている。
- 公式やきまりを習うとき、そのわけを理解している。
- 問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。

課題等に対応した改善指導内容

【授業改善】

- 1単位時間の授業プランを基に、育成を目指す資質・能力を明らかにし、その資質・能力をどこで、どのようにして付けていくかを明記して授業を行い、振り返りや適用問題を行う。
- 数量や図形についての概念等を数学的活動や生活場面と関連させながら理解させる。
- 図や式、数、表、グラフ、言葉などの算数的表現を用いて根拠をもって筋道立てて考える能力を育て、伝え合ったり説明したりする学び合いの充実を図る。

【日常的な取組】

- めあてとまとめの板書、話し合い、まとめ、表現する活動やICTの活用を取り入れる。
- 基礎・基本の習熟、補充的・発展的な問題の指導の時間を日課表に位置づけて個に応じた指導を行う。

【家庭学習等】

- 自学学習の充実を進めるとともに、ゆうチャレンジ問題、単元別評価問題等を与え、家庭と連携して生活習慣や家庭学習の習慣化を図る。